

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報 大森 海苔のふるさと会 全館 ニュース97号

	開催日	a		-4.00		7 6 3 3 5 6 5
月	日	曜	催し物	時間	対象	受付開始日
4	6	土	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	申込終了
	21	日	緑のカーテンを編もう	①9:30~11:30 ②13:30~15:30	小5以上	電話受付 3月21日(木)
5	26	日	海苔でお絵かき「海藻おしばづくり」	$\begin{array}{c} \textcircled{1}10:00\sim11:30\\ \textcircled{2}14:00\sim15:30 \end{array}$	どなたでも	電話受付 4月11日(木)
6	9	日	あみあみペットボトルホルダーづくり	13:00~16:30	小5以上	電話受付 5月11日 (土)
	29	土	海苔を観察して調べよう	13:00~15:30	小3以上親子	
7	23	火	浜辺の生き物探検隊	9:30~12:00	小3以上	
	28	日	タペストリーをつくろう	13:30~15:30	小3以上	. 15 35
	30	火	自然素材でフォトフレームづくり	13:00~15:30	小3以上	電話受付
	4	日	自由研究で海苔を調べよう	13:00~16:00	小3以上	7月7日 (日)
	6	火	浜辺の生き物探検隊	9:30~12:00	小3以上	
	12	月祝	海のくっつく生き物を観察しよう	13:00~15:30	小3以上	
8	21	水	貝がら工作	①10:00~11:30	小学生以下 ※幼児は保護者	往復はがき 7月1日(月)
	22	木	貝がら工作	②14:00~15:30	同伴必須	~7月16日(火) 消印有効
9	8	日	海苔簀づくり	13:30~16:00	小3以上	電話受付
	21	土	海苔簀づくり	13:30~16:00	小3以上	8月11日(日)
10	12	土	浅草海苔のふるさと大森を歩く	13:30~16:00	小5以上	電話受付 9月11日(水)
11	23	土祝	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	往復はがき
	30	土	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	10月21日(月)
12	8	日	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	10:00~12:30	小3以上	~10月31日 (木)
	22	日	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	消印有効
1	13	月祝	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	公子(与) 1. 27 よ
	26	日	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	往復はがき 12月11日 (水)
2	1	土	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	10:00~12:30	小3以上	~12月20日(金)
	24	月祝	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	消印有効
3	9	日	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	10:00~12:30	小3以上	往復はがき 2月11日(火祝) ~2月21日(金) 消印有効
	20	木祝	初めての海苔つけ体験	10:00~12:00	小学生以上	

★申込み方法:催し物は事前申込み制です。申込み方法や受付期間は催し物によって異なります。

電話での受付:申込み開始日の午前9時から受付開始、先着順。

往復はがきでの受付: 申込み開始日から終了日の消印まで有効、抽選。

記入方法は当館公式サイトをご覧ください。

★申込み・問い合わせ先:大森 海苔のふるさと館

〒143-0005 東京都大田区平和の森公園2-2 203-5471-0333





 $(N_{0.97})$ 令和6(2024) 年4月1日



年間の催し物のご紹介



■緑のカーテンを編もう

海苔網の編み方を応用して、ゴーヤなどを育てる ネットを手作りします。

■海苔でお絵かき「海藻おしばづくり」 海苔や近くの浜辺で採れた海藻で絵を 描いて、海藻おしばに仕上げます。



■あみあみペットボトルホルダーづくり

海苔網の編み方を応用して、ペットボトルを入れ るネット状のホルダーを作ります。

■海苔を観察して調べよう NEW

海苔の標本づくりや、触ったり焼いたりなどの体 験を通して、海苔をサイエンスの視点から調べます。

■浅草海苔のふるさと大森を歩く

浅草海苔の一大生産地だった大森の海辺エリアを 巡り、海苔に関する史跡などを見学します。

■初めての海苔つけ体験

生海苔から乾海苔を作る体験です。 とにかく体験したい人におすすめです。



■大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験

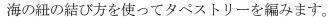
大森の海苔養殖の歴史や海苔づくりの作業のお話 を聞き、伝統の海苔づくりの手わざを体験します。 じっくり学びたい人におすすめです。

◉夏休み子ども向け体験学習会

■浜辺の生き物探検隊

浜辺の生き物の観察をして、 身近な海の環境を学びます。

■タペストリーをつくろう



■自然素材でフォトフレームづくり

水辺に生えている植物のヨシを編んで、ミニサイ ズの海苔簀を作り、それを貝がらで飾りつけてフォ トフレームを作ります。

■自由研究で海苔を調べよう

海苔づくりの歴史のお話や道具の体験、質問タイ ムなど、海苔について学びます。

■海のくっつく生き物を観察しよう

海に沈めた仕掛けに付いた生き 物を調べます。物にくっついたり 集まったりする習性のある生き物 を観察します。



■貝がら工作

貝がらを紙箱の中に貼り付けて、 海の中をイメージしたオリジナル の水族館を作ります。



ミニ・イベント



■のり☆のりクイズ

4月27日 (十) ~5月6日 (月祝) 開館時間中

■ひまわりプロジェクト

~ひまわりの種配布~

4月28日(日)・29日(月祝) 5月4日 (土) · 5日 (日)



~種まきの巻~

開館時間中

4月28日(日)·29日(月祝) 13:30~14:30 (雨天の場合5月4日)

~水やりの巻~

5~7月毎日 開館時間中



9月14日(土)~16日(月祝) 開館時間中

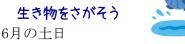
■カブトをつくろう

5月5日 (日) 13:30~15:30

■ハーブのサシェづくり

6月16日 (日) 13:30~15:30

■展示室で浜辺の 生き物をさがそう



12・1月の土日祝日と冬休み 開館時間中

■七夕飾りづくり

7月6日 (土) 13:30~15:30

■のり検定(海苔のワークシート) 7月20日(土)~8月31日(土) 開館時間中

■天空ガーデンのハーブの配布 9月14日(土)~16日(月祝) 開館時間中

■紙芝居一座がやって来る!

毎月第2十曜日 13:30~14:30 5月は第4、7月は第3、12月は第1 10月はお休み

■親子で昔遊び

毎月第2日曜日 14:00~16:00 5・10月はお休み

■天空ガーデン

手入れ 毎月1回 10:00~11:00 8・10・12・1月はお休み

植替え 4・11月 13:30~14:30

※どなたでもご参加いただけます!

特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報 「大森海苔の ふるさと館ニュース」97号

令和6年4月1日発行 編集・発行 特定非営利活動 法人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347



海苔のふるさと会 会員募集中!!

当館の活動を支援してくださる会員を募集中。 会員には年6回、このニュースをお届けします。 詳細は電話またはホームページにて。



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森海苔のふるさと館 ニュース98号

海苔網の普及と現代海苔養殖技術の幕開け

海苔の養殖資材は、昭和時代に竹ヒビから海苔網へ代わりました。単に道具が代わっただけでなく、竹ヒビと海苔網では管理方法が全く異なります。海苔網の普及は海苔養殖に一大改革をもたらし、現代の海苔養殖技術の幕開けとなりました。

※当時は海苔網を網ヒビと呼んでいましたが、ここでは 現代の名称である海苔網の呼び名に統一しています。

1. 新しいヒビの誕生と普及

明治時代に漁場が沖合に拡張され、材料の竹が高騰したことから、竹ヒビに代わる新しいヒビが必要になりました。明治30年代以降、各県に水産試験場が設立され、海苔の養殖資材や製法の研究が行われるようになりました。

大正11(1922)年に千葉県の水産試験場でシュロ縄の網の実験に成功すると、昭和初期には海苔養殖の実験地や新興地で海苔網の導入が始まりました。しかし、海苔網の養殖管理は竹ヒビと全く異なったことから失敗も多く、全



東京都水産試験場による いかだ式沖合養殖実験 (昭和32年撮影 東京都島しょ) 農林水産総合センター 所蔵

国へ普及したのは昭和30(1955)年以降のことでした。 大田区では、昭和初期に羽田沖で海苔網の実験が 行われましたが、当時の大森では新しく考案された 結い付けヒビが順調でした。しかし、戦後に網の材 料が配給されたことから、大森でも若者を中心に導 入が始まりました。



戦後、全国で漁業制度の 改革や科学的経営の実現な ど漁業の在り方が大きく変 化していきました。各漁業 組合の青年らによる研究会 が発足し、海苔網を使った 新しい養殖技術の研究が進 められました。

『私達の海苔研究』 (昭和27年創刊) 海苔網は竹ヒビに比べてさ まざまな利点がありました

が、未解明な部分も多く科学的な知識が必要とされ たため、青年たちの研究は海苔網の普及と養殖技術 の向上に大きく貢献しました。

2. 海苔網の利点

海苔網は竹ヒビに比べて次のような利点があり、 昭和30年代には全国へ普及していきました。

竹ヒビ	海苔網		
ヒビごさえは、男性による	海苔網編みは室内で女性		
屋外の力作業	も作ることができる		
重くてかさばるため、運搬	軽くて畳めるためやや小		
には大型の船が必要	型の海苔船で運搬可能		
潮が引かないと海苔が採れ	網を手元に手繰り寄せら		
ないため、深夜に行く日も	れるため、夜に行かなく		
ある	てもよい		
竹の小枝が海苔に混じる	網は欠片が混じること		
ので取り除く手間がある	はない		
収量はほどほど	竹ヒビより収量が多い		
時化で竹ヒビが流されやす	波に対する抵抗力が強い		
V			
一本ずつ建てたり抜いたり	支柱に紐で結ぶ作業は労		
する作業が重労働	力が少ない		
種付け以外は基本的に建て	網を張る場所の移動がし		
たまま	やすい		

3. 海苔網による海苔養殖

海苔網での海苔養殖は、海苔網を編むところから 始まります。夏の間や雨天など屋外作業がない日に 編みためておき、秋の種付けまでに仕上げます。

9月中旬、5~6枚に東ねた網を海苔船に載せて千葉県に種付けに行きました。海苔網を張り、約1か月して種(胞子)が付いたころに網を取りに行きました。

12月初めに海苔採りが始まります。海苔船にベカ ブネを載せて、漁場に着いたらベカブネを下ろして

海苔採りをします。

春になり、海苔の季節が終わりに近づくと、海苔網を回収して残った海苔を回収して残った海苔をしました。海苔網は修理して約3年使うことができました。



海苔採り (昭和37年1月撮影)

 $(N_{0.98})$ 令和6(2024)年6月1日

4. 海苔網を編む

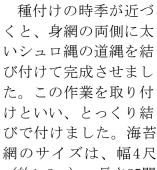
海苔網は生産者が資材屋で材料 を購入し、自ら編んで作っていま

素材は、初期にはヤシ繊維のコ イルヤーンやパームがありました が、後にシュロ繊維のシュロ縄が 主流になり、昭和30年ごろには実 験的に合成繊維も出回りました。

道具は薄い板の目板と竹で作っ た網針で、いずれも手製でした。

網針にシュロ縄を巻き、

目板で目の大きさを決 めながら3目か4目の身 網(中網ともいう)を かえるまたという編み 方で編みます。夏や雨 など、海で作業ができ ない日に作りました。 力作業ではないので女 性も編みました。







海苔網編み (昭和33年夏日髙勝彦氏撮影)



海苔網の取り付け 網のサイズは、幅4尺(昭和33年夏日髙勝彦氏撮影) (約1.2m)、長さ25間(約45.5m)が標準でした。

当館公式YouTubeチャンネルで、元海苔生産者の 海苔網の編み方の実演や、海苔網の基本の編み方、 応用編の作品作り 編み方実演 海苔網基本 海苔網応用 などをご覧いただ けます。

企画展「竹ヒビから海苔網へ

-現代の海苔養殖技術の黎明-」

~8月18日(日)まで

休館日:6月17日(月)~21日(金)、 7月16日 (火)

海苔網による海苔養殖方法や海 苔の養殖技術の変化などについて 取り上げています。



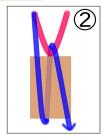
5. 海苔網の仕組みと編み方

海苔網の本体の身網は、"かえるまた"という編 み方を繰り返して編んでいきます。

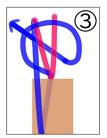
かえるまたの編み方



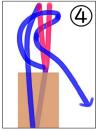




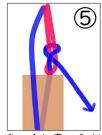
糸を手前に引く



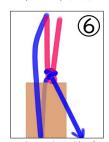
"の"の字を書くよう に左に輪を作り、赤 い糸を2本すくう



網針を手前に引



赤い糸と青い糸が からみ合うように結 び目を作る



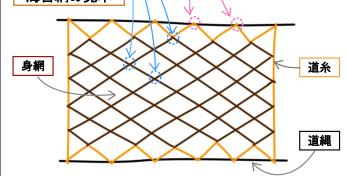
目板の上に結び目 ができたら完成



とっくり 道縄の結び目



海苔網の見本



現在、全国の海苔生産地では、合成繊維を機械で 編んだ市販の海苔網を使用しています。海苔網を作 る仕事はなくなりましたが、生産者が破れた部分を

補修するために、現在 でもこの編み方の技術 は使われ続けています。

(五十嵐)

特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報 「大森海苔の ふるさと館ニュース」98号

令和6年6月1日発行 編集·発行 特定非営利活動 法人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347



会員募集中!!

海苔のふるさと会 当館の活動を支援してくださる会員を募集中。 会員には年6回、このニュースをお届けします。 詳細は電話またはホームページにて。



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森海苔のふるさと館 ニュース99号

「流」のある 風景写真

大田区沿岸部の大森・糀谷地域では、江戸中期から昭和中期まで 長く海苔養殖が営まれ、羽田地域は江戸幕府に海産物を献上する 猟師町でした。人々の暮らしや家屋は地場産業と結びついており、 特徴的な街並みが広がっていました。

大田区の「漁」が盛んだったころの海辺の街の風景や、人々の日常が写された写真を紹介します。

大森の街並み

写真は、現在の大森東中学校にあった東京瓦斯大森工場の第二ガスホルダー(通称ガスタンク)の上から、大森東4~5丁目あたりを撮影したものです。

戦時中に大田区の多くの建物が戦災にあいましたが、このエリアは空襲の被害が少なく、焼失を免れた戦前の茅葺屋根の家屋が残っています。また、各家の周りには海苔乾し場が点在しています。遠く海の先には、かすかに海苔の漁場に広がる海苔網が見てとれます。



大森東地域の街並み 昭和30(1955)年2月 田中一實氏撮影

街の風景

江戸時代は、海辺で採れた魚介類を漁師が道沿いで販売していました。明治13(1880)年に三原通り(現・美原通り)の中ほどに魚市場ができ、仲卸問屋が漁師から魚介類を仕入れて小売店に売るようになりました。

取引が拡大したことから、昭和5 (1930)年に現在 大森スポーツセンターがある場所に大森魚市場とし て移転しました。東側は海に面していて船着き場に なっていました。昭和47 (1972)年に大森市場に改称 され、右上の写真はその入り口を撮影したものです。 平成元 (1989)年に、現在の大田市場水産物部へ統 合され、この場所は廃止されました。



東京都中央卸売市場大森市場昭和61(1986)年石原裕之氏撮影

海辺の暮らし

大森東地域には、多くの海苔生産者が住んでいました。写真は海苔養殖が終わって3年後ですが、海苔養殖を行っていた当時の建物がそのまま残っています。

正面の建物は母屋で、向かって右側は海苔付け小屋です。冬には、未明から小屋の中で海苔切りと海苔付けをしました。

昭和38(1963)年の春に海苔養殖が終わると、母屋 を建て替えて海苔乾し場だった場所をアパートや駐 車場に転用する家も多くみられました。



大森東の元海苔生産者の家 昭和41(1966)年

令和6(2024)年8月1日 $(N_{0.99})$

祝いと祭り

太田道灌の江戸城築城から500年を記念して、昭 和31(1956)年10月1日から15日まで、大東京祭と称 して東京でさまざまな行事が開かれました。

海上パレードには、大田区の漁民たちも漁船や海 苔船に乗り合って参加し、賑やかにパレードを繰り 広げました。

写真は、海苔船に乗り込んだ海苔生産者たちが、 貴船堀からパレードに向かおうとしているところで す。祝いのために、海苔船に屋根を付けて大東京祭 の提灯をぶら下げたり、旗を掲げたりしています。



大東京祭の海上パレードに向かう海苔船 昭和31(1956)年10月

羽田の海辺

写真は、羽田6丁目にある多摩川沿いの赤レンガ 堤防の道です。道の突き当りは五十間鼻といい、こ の名称は増水時の濁流の流れを制御するために積ま れた長さ50間(約90m)の石積みの水制に由来します。



漁師の家が立ち並ぶ羽田の五十間鼻付近 昭和30年代 横山宗一郎氏撮影

海苔のふるさと会当館の活動を支援してくださる会員を募集中。 会員には年6回、このニュースをお届けします。 詳細は電話またはホームページにて。

写真の左には漁師の家が並んでいます。この付近 は、ノベナワ漁の漁師が多く集まっていました。ノ ベナワ漁は、針にエサを付けた糸を漁船から手繰り 出して、アナゴ・サヨリ・サワラ・スズキ・タイな どを採る漁です。延縄漁のことですが、羽田ではノ ベナワ・ナガナワと呼ばれていました。

写真の奥に見える人々は、ゴカイを捕るための餌 掘りマンガとゴカイを入れる岡持ちを持っています。 マンガで砂を掘り、捕ったゴカイは釣りの餌として 売りました。

子どもの日常

写真は、多摩川 沿いの赤レンガ堤 防の道で子どもた ちが凧揚げを楽し んでいる様子です。

羽田は、河岸に 近い場所に家が密 集する猟師町特有 の街並みが広がっ ていました。広場 が少ないことから、 堤防で凧揚げを しました。



正月に多摩川土手で凧揚げ 昭和30年代

(五十嵐)

写真展『漁』のある風景

期間: 令和6年8月20日(火)~12月15日(日) 休館日:9月23日(月·祝)~10月31日(木)、 11月18日(月)

大田区で「漁」が盛んだったころの海辺の街 の風景や、人々の日常が写された写真を展示し ます。写真を通して当時の暮らしや街の風景の 変化を振り返ります。

休館のお知らせ

9月23日(月・祝) ~10月31日(木)

館内工事のため、臨時 休館します。見学や下見 などのご利用はできませ ん。(電話は可)

ご迷惑をおかけします が、ご理解とご協力の程、 よろしくお願いします。

特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報 「大森海苔の ふるさと館ニュース」99号

令和6年8月1日発行 編集•発行 特定非営利活動 法人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347

会員募集中!!



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森海苔のふるさと館ニュース100号

海苔のふるさと館の出張イベント

当館では、外部の団体や地域のおまつりなどからのご依頼で、出張して海苔のふるさと館オリジナルのイベントを行うことがあります。当館の存在を広くPRしたり、大森の海苔づくりの歴史や海の環境に関心をもってもらうための活動です。今回は、最近の出張イベントについてご紹介します。

1.野鳥公園フェスティバル・里地里山フェスティバル(会場:東京港野鳥公園)



東京港野鳥公園では、5月に野鳥公園フェスティバル、11月に里地里山フェスティバルを開催しています。当館は平成26年から毎回参加し、「海からのおく

りもの 貝がらで飾りをつくろう」の工作イベント



飾りつけ、首飾りに仕上げます。幼児や小学生の親 子連れを中心に人気のイベントです。

東京港野鳥公園は当館から車で約10分の距離にあり、干潟観察をすることもできます。また、竹やヨシなどの材料を提供していただき、当館の活動にご協力いただいています。

「第10回里地里山フェスティバル」

イベント開催 令和6年11月17日(日) 10:00~15:00 大田区東海3丁目-1

2.エコフェスタワンダーランド(会場:大田区内)

大田区では、区民の環境意識を高めるため、「地域から考える地球の未来」をテーマに2~3月ごろ環



境イベントのエコ フェスタワンダー ランドを行ってい ます。

大田区のさまざ まな団体や企業が 協働し、当館は平 成29年から毎回参

これから 参加できる 3フのイベント

加しています。会場は、大田区の学校や公共施設などで開催され、同時に特設WEBサイトも開設されています。ここでも貝がらで首飾りをつくる工作イベントをし

ています。海や自然の良さを見直すきっかけとなる よう、首飾りの紐も自然素材を入手しています。

「第24回エコフェスタワンダーランド」

イベント開催 令和7年3月8日 (土) 10:00~15:00 会場:田園調布せせらぎ館 大田区田園調布1-53-8 3.東京メガイルミ (会場:大井競馬場)

大井競馬場では、競馬のない日に冬季限定のイルミネーション「東京メガイルミ」が開催されています。

その中のおおた区民ウィー ク期間にて、昨年度から



「貝がらのオーナメントをつくろう」の工作イベントを行っています。クリスマスツリーにも飾れる貝



がらのオーナメントづくりです。昨年、初めて参加した際には、美しいイルミネンをあるくが開催でなくが開催され、親子連れで

に賑わっていました。

「東京メガイルミ 2024-2025」 イベント開催 令和6年12月14日(土)・15日(日) 品川区勝島2丁目1-2

主催:特別区競馬組合、東京都競馬株式会社

※ 参加には東京メガイルミの入場料が必要です。 詳細は「東京メガイルミ 2024-2025」のサイトをご 覧ください。

東京メガイルミ https://www.tokyomegaillumi.jp/

 $(N_0.100)$ 令和6(2024)年11月1日

4.ふる浜まつり

(主催:大森西地区自治会連合会)

大森西地区の21自治会・町内会を中 心に、地域関係団体の協力を得て開催 している子どもから大人まで楽しめる

地域のおまつりです。例年、大森ふるさとの浜辺公 園で開催されています(雨天時は大森東小学校)。



今年のおまつ りは10月13日 (日) に開催さ れました。当館 は、今年も生海 苔をさわる体験 と水で海苔つけ 体験を行いまし た。海苔網に生

長した生海苔を触って、パリパリの焼海苔から想像 できないと驚く声が聞かれました。

おまつりは天候にも恵まれ、大森西地区の大勢の 方々が集い、模擬店やステージ・子ども向けコーナー などを楽しむ人々で賑わっていました。

5.いつつのわふれあいまつり

(主催:大森東地区自治会連合会)

大森東地区の5つの自治会が開催している地域の おまつりです。大森東特別出張所周辺の公園など広 いエリアを使って開催されています。

5つの自治会は大森の沿岸部に位置し、元海苔生 産者が多い地域です。地域の特色を生かして、海苔

に関する写真展 示や海苔の販売、 体験などが行わ れています。

今年は10月20 日(日)に開催 され、当館では 今年も海苔つけ 疑似体験を行い



ました。「子どものころに手伝った」という方々も 次から次へと訪れ、世代を超えて賑わっていました。

6.アトレ大森40周年感謝祭(会場:アトレ大森)

JR大森駅の商業施設アトレ大森が今年でビル誕生 から40周年を迎えることから、9~10月にかけて感 謝祭が開催されました。

アトレ大森からの依頼で、海苔つけ体験と海苔で おしばづくりのイベントと、当館のパネル展示を行

今年度実施した 3つのイベント

いました。通常、 商業施設などで の出張海苔つけ は行っておらず、

初の試みとなりました。

9月22日(日)はアトレ大森正面入口で海苔つけ の疑似体験をしました。当日受付で参加無料、年齢 制限なく体験していただきました。背後で自作のデ ジタルサイネージを流していたこともあり、親子連 れだけでなく、興味をもって質問される大人の方も いました。



10月6日 (日) は海苔でおしば づくりを行いま

した。事前受付 は早々に満席に なる大盛況でし た。参加者は幼 児や小学生の親

子連れでした。

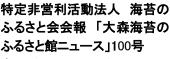
生海苔で好きな絵を描き、海藻クイズを楽しむ約 45分のプログラムです。生海苔の感触に驚く子ども たちが多かったようです。

9月22日(日)から10月6日(日)には、5階レス トランフロアで大森の海苔養殖の歴史やふるさと館 の活動紹介のパネル展示をしました。

イベントでは、 まだ来館したこと がないという方も 多く、当館の存在 や活動を伝える機 会になりました。 また、大森の海苔 養殖の歴史につい ても、親子連れな

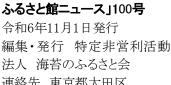
ど若い世代にも知って いただくことができた のではないかと思いま す。





連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号



TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347



海苔のふるさと会 会員募集中!!

当館の活動を支援してくださる会員を募集中。 会員には年6回、このニュースをお届けします。 詳細は電話またはホームページにて。

 $(N_0.101)$ 令和7(2025)年1月1日



もどうぞよろ

お

願

げ

特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報





海苔のふるさと館

域 の体内 か大館 を で て 要望 あ 気 て 験外 2 ア す お 0 冬 海 思 年 苔 h 1 は かの い に応 ま ま な ま 毎 風 0 0 ま 5 0 苔の が地皆で す。 物 ま したことの 2 す 回の け大 か ·i. 森が 之 詩 様 て 抽申 5 3 ٠٤. る選込、海にひみ きと 0 あ 知 0 0 る 校 育 歴 ビ h 依 は さと んでを を 加海 ま ŧ から ル 頼 13 ない した 答で る 出 增 す。 とうご U 誕 か 0 館 えて体 い伝 L 募ほ 生 b 2 は 0 人も多く、 一冬で 0 方 集 お 昨 えることで 協 4 P 人のい験 0 年 外 謝 力 所存で R 数人 周 申 ば 部 VI L 約 ま 中 は L 0 は から 20 す。 ま を 気 づ 年 J て 0 た で 毎年 で は 施 上 0 R 体 しす。 海苔のまち大 きた 校 記大 験 設 と会 念 少 森 やま から 1 。 だ、 す。 0 L 校 駅 来 参 0 力 0 11 1 ~. 地 で 運 ず加海 3 ネベ 0 ン域 2 11 る ン は 営 た ほ 0 希 苔 ŧ ル 商 1 0 増望 1 と理 2 つに 展 だ を お や者



新年

るさと

茨

田理

尚長







昨年はこんなニュースがありました! - 本年もよろしくお願い申し上げます-

内施



夏!体験ボランティア

大田区社会福祉協議会が 毎年8月に開催している「夏! 体験ボランティア」に協力 しました。

対象は小学生から大人ま でで、イベント用のハーブ の準備やヨシの処理作業な どを体験していただきまし た。海苔以外のイベントも あることが分かった、海苔 の作業を知ることができた、 ボランティアの面白さを知っ たなど、好意的なご意見を いただきました。また、こ の体験をきっかけにはまど の会へ入ってくださった方 もいました。

設備の修理工事!

9月23日(月祝)~10 月31日(木)まで、設備 の改修工事のために臨 時休館しました。利用 者の方々には大変ご迷 惑をおかけしました。

工事箇所は、空調設 備の入れ換えと照明の LED化です。当館も開 館して16年経ち、機器 関係も不具合が生じる ようになりました。工 事後は、冷暖房の効き がよくなり、展示も見 やすくなり、快適にご 利用いただけるように なりました。

OTAふれあいフェスタ開催!

11月2日 (土) ~3日 (日) の2日間、OT Aふれあいフェスタ2024が開催されました。 今年も、大森ふるさとの浜辺公園がメイ ン会場になり、当館の周辺は多くの方々 で賑わいました。

初日はあいにくの雨のため当館で開会 式を開催し、太鼓が披露されました。

2日目は晴天が広がり、絶好のイベント 日和となりました。館の敷地では、大森 本場乾海苔問屋協同組合による海苔の販 売、海苔メニューの屋台、海苔焼き体験 などが行われました。

大田区の友好都市に よる特産物の販売や区 内で活動する国際交流 団体のテントなどもあ り、大盛況でした。



海苔を切る道具

常設展示室に展示している海苔の資料 を取り上げて、紹介するコーナーです。 今回は、海苔を切る道具を紹介します。

何に使うもの?

海で収穫した海苔 は、細かく刻んでか ら海苔付けをします。 この時に海苔を切る ために包丁を使いま した。

海苔は非常に薄い 海藻ですが、包丁を 叩くようにして切ら なければ細かく刻む



網から垂れ下がる海苔 (大森ふるさとの浜辺公園)

ことができませんでした。海苔切りのことを海苔た たきという地域もありました。

細かく刻むことによって、板海苔にして食べた時 に歯切れがよく、おいしく感じます。海苔を切る包 丁は、海苔の生産量の増加につれて効率化が求めら れ、時代とともに変化していきました。

道具の変遷と使い方



海苔切り包丁



江戸時代から大正時代 末期までは、海苔切り包 丁を使いました。ケヤキ のまな板の上に生海苔を 載せ、まな板の周囲に3~ 4人立って、両手に握った 海苔切り包丁で交互にト ントンと叩くようにして 生海苔を切りました。



飛行機包丁



より効率的に切るため に飛行機包丁ができまし た。2~3枚の刃を平行に 並べて、重ねた包丁の柄 を握りました。見た目が 飛行機の複葉機に似てい たことからこの名前で呼ば

れました。

効率が上がりましたが、 包丁が重くなり、重労働だっ たことが想像できます。



突き包丁



次に、昭和時代初期ごろから 突き包丁が使われるようになり ました。6~8枚の刃を平行に固 定しています。

刃の多さと重量によって刻む 効率が上がりましたが、持ち上 げるための補助力が必要でした。 天井の梁に竹を差し、竹と突き 包丁の柄をひもで結んで竹のし なりを利用したり、自転車のチュー ブやゴムなどで梁から吊り下げ たりして、まな板に突き下ろし て刻みました。



海苔裁断機



続いて電動の海苔裁断機も 登場しました。モーターの動 力で包丁が順番に下に振り下 ろされ、まな板も回転しまし た。機械化によって効率が上 がり、生海苔がムラなく切れ るようになりましたが、音が 大きいという欠点がありまし た。



チョッパー

最後に登場したのがチョッパー です。ひき肉を作る機械を応用 して作られました。昭和10年代 に商品化されましたが、これま でと全く異なる仕組みだったこ とから大田区ではなかなか受け 入れられず、昭和20年半ばに徐々 に普及し始めました。

当初は手回し式でしたが、近 所の町工場でモーターを取り付

けて電動式に改良することで、より作業が省力化さ れました。

(五十嵐)

特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報「大森海苔の ふるさと館ニュース」101号

令和7年1月1日発行 編集·発行 特定非営利活動 法人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347



海苔のふるさと会当館の活動を支援してくださる会員を募集中。 会員には年6回、このニュースをお届けします。 詳細は電話またはホームページにて。

(No.102) 令和7 (2025) 年3月1日



特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース102号

今和6年度 海苔生育観察事業 作業報告

当館では、かつて大田区で盛んだった海苔養殖の歴史と技術を継承するために、毎年、海苔の生育観察事業として、大森ふるさとの浜辺公園の浜辺(以下、ふる浜)に竹ヒビを建てたり、海苔網を張ったりして、海苔の生育観察をしています。そして、今回は3年ぶりに海苔採りを実施することができました。その様子や作業の振り返りとして皆様にご報告いたします。



網張りから35日後の海苔網(令和7年1月18日)



令和6年12月14日(土)、木更津の海苔漁師の方に 種付けしていただいた海苔網をふる浜に張り出す、 「網張り」を実施しました。この日の海苔は1mm程 度の長さでしたが、日が経つにつれ、海苔は少しず つ生長していきました。



網張りの様子



網張りから10日後の海苔網

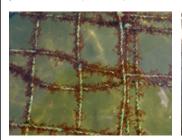
2. 展開と強化版食害防止用ネット張り

令和7年1月5日(日)、海苔網の海苔が順調に生長していたため6枚重ねの海苔網を分けて張り直す「展開」を実施しました。今回も6枚重ねの海苔網を3枚ずつ、2面に分けて張り直しました。新しく張り直した方の海苔網には食害防止用ネット≪強化版≫を設置しました。昨年度の結果から、オオバンという鳥が海苔を食べに来ているのは間違いないだろうということで、鳥対策を強化することにしました。



海苔採り(令和7年1月19日)

昨年度までは海苔網の上下と左右を挟むようにネットを張っていましたが、それでもネットの幅が短く、海苔網がはみ出してしまう部分が大きかったのです。そのため、上部のネットを2枚重ねて海苔網がはみ出さないようにし、側面のネットも海底にピッタリつくように高さを調節して設置するようにしました。比較として、もう3枚の海苔網にはネットを全く設置しないで様子を見ることにしました。



網張りから21日後の海苔網



展開



展開の日の海苔網



食害防止用ネット強化版

 $(N_0.102)$ 令和7(2025) 年3月1日

3. 3年ぶりの海苔採り!

ふる浜の海苔は順調に生長し、10cm以上の長さに なりました。そこで、令和7年1月19日(日)、地元の 元海苔生産者の方々をお呼びして、職員とボランティ ア「はまどの会」のメンバーで「海苔採り」を実施 しました。海苔は根元の部分を残すようにして収穫 すると、残った部分から再び生長して何度も収穫す ることができます。そのため、かつて手作業で海苔 採りをしていた頃は親指の爪と人差し指を使って海 苔をちぎるようにしていたそうです。職員もはまど の会も実際に海苔採りを海でする機会はほとんどな いため、必死に教わりました。

海苔採りをしていると、ふる浜の来園者の方々か らお声をかけていただくことがあり、みなさん、本

物の採れたての 海苔を見て感動 してくださいま した。当日はと ても寒い中での 作業でしたが、 海苔づくりの苦 労を、身をもっ てお伝えするこ とが出来ました。



海苔採り1回目

4. 2回目の海苔採リ…

その後も引き続き、海苔の生長を見守りました。 すると、食害防止用ネットがない方の海苔網はすっ かり海苔が短く、少なくなっていたのに対し、ネッ トを設置した方は1週間も経たないうちに元通り以 上の長さになりました。強化した食害防止用ネット は食害防止に一定の効果があることが分かりました。



海苔採りから10日後の ネットがない方の海苔網



海苔採りから10日後の ネットがある方の海苔網

令和7年2月1日(土)、再び海苔採りをしようとふ る浜に行ったところ伸びていた海苔が短くなり、垂 れ下がっているのはほんの少しだけ、という状態に なっていました。わずかばかり海苔網に残った海苔 の色はとても良かったため病気や死滅は考えにくく、 おそらくオオバンが原因ではないかと考えられまし た。この日は採れるところのみ海苔採りをして、も う一度海苔が伸びるか様子を見ることにしました。



海苔採り2回目

海苔採り2回目の日の海苔網

後日、職員が海苔網を 見に行くと、ネットのわ ずかな隙間からオオバン が侵入し、海苔網をつつ いていました!やはり、 オオバンが食べていたよ うです。来年度はネット のさらなる改善が必要と いうことが分かりました。



オオバンが海苔網を つつく様子

5. 今シーズンを振り返って

今年度は、3年 ぶりの海苔採りを 実施することがで き、その量は脱水 して計2.6kgにな りました。シーズ ン中の天候は良く、 生育条件に問題は なかったと考えら れます。食害防止



浜辺からの様子

用ネット≪強化版≫の効果は多少見られたようです が、オオバンは少しの隙間からでも海苔を狙ってい るのは確かだということも分かりました。鳥や魚に よる食害は、近年、全国の海苔生産地でも問題になっ ています。対策は一筋縄ではいかないという話もよ く聞きますがまさにその通りで、現代の海苔生産者 の苦労も垣間見ることが出来ました。

ふる浜に竹ヒビや支柱が立っている様子は4月中 頃までご覧いただけま す。ぜひ、お越しいた だきご覧いただければ

(滝本)

特定非営利活動法人 海苔の ふるさと会会報「大森海苔の ふるさと館ニュース」102号

令和7年3月1日発行 編集•発行 特定非営利活動 法人 海苔のふるさと会 連絡先 東京都大田区

平和の森公園2番2号

TEL 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347



海苔のふるさと会 会員募集中!!

当館の活動を支援してくださる会員を募集中。 会員には年6回、このニュースをお届けします。 詳細は電話またはホームページにて。

幸いです。